



令和4年7月20日(水)
練馬区立開進第四小学校
校長 河崎 晃二

開四小だより

夏休み号

充実した夏休みにするために

校長 河崎 晃二

早いもので、今日で1学期が終わり、明日から子供たちが楽しみにしている夏休みに入ります。1学期は、消防写生会や遠足、音楽鑑賞教室、水泳指導など、これまでできなかった行事等が行うことができました。これも、ひとえに保護者の皆様の御協力のお陰と感謝しております。ありがとうございました。

*

さて、これから長い夏休みとなりますが、子供たちにとっては魅力的な響きをもつ「夏休み」。この夏休みに、子供たち一人一人が自分に合った過ごし方をすることが大事だと私は考えています。夏休みは、休みが長くじっくり、ゆったりとした時間があり、自然体験や社会体験など様々なことに取り組む絶好のチャンスです。もちろん楽しいことばかりではありません。苦しいことや失敗して落ち込むことなどもあるかもしれません。でも、このような楽しさや苦しさを体験できる夏休みは、子供たちが自立する大切な機会だともいえます。特別な場所に出かけるだけでなく、普段の生活の中にも体験の場はたくさんあります。

体験は、子供たちを自然科学者にします。
体験は、子供たちを歴史学者にします。
体験は、子供たちを冒険者にします。
体験は、子供たちを詩人にします。
体験は、子供たちの心を大きく美しくします。
体験は、子供たちの瞳を美しくします。
体験は、子供たちの考える力を伸ばします。

夏休みでの自然体験や社会体験などは、学校とは違った子供の成長が期待されます。是非、御家庭で夏休みの計画を立ててみてください。

そして、夏休みが終わり2学期には一まわり大きく成長している子供たちの姿を楽しみにしています。

*

最近になって、新型コロナウイルス感染症の新しい変異株の影響で、新規感染者数が急激に増えてきています。以前とは対応策が少し変わり、全ての活動を制限するのではなく、感染症のリスクを減らしながら活動をする方向になってきています。なかなか難しく大変なことです。今後もこのような状況が続く限り、前向きに考える必要があると考えております。